

市政をもっと身近に！わかりやすく！

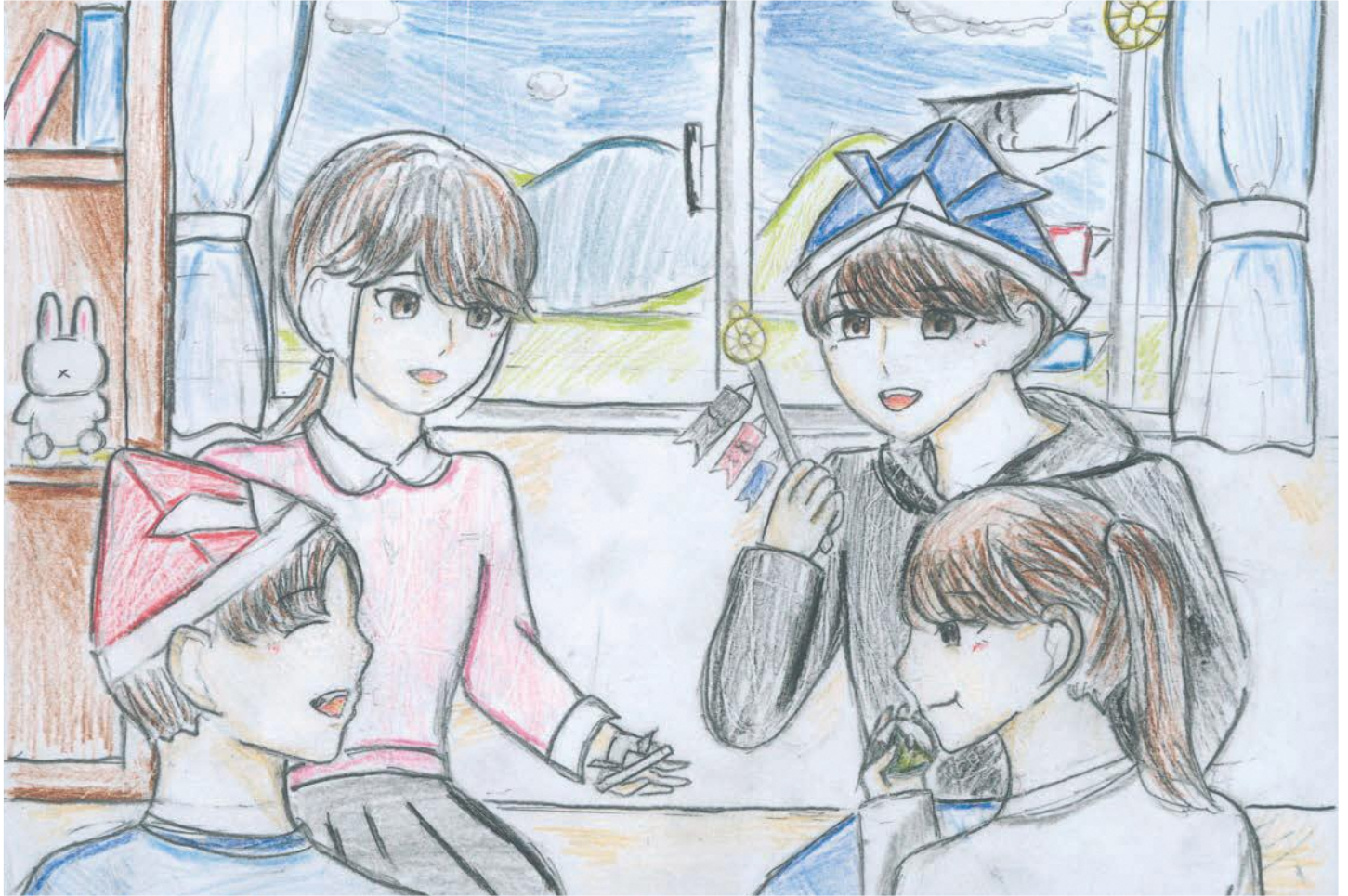
# 天童市議会だより

2026

5.15

No.192

3月定例会



イラスト作品名「たのしいこどもの日」(題字とイラストの作者紹介は、16ページをご覧ください。)

## 笑顔咲く春 芽吹く未来へ

**特集** 報告します 令和7年度政務活動費の使い道

# 3月定例会

インターネットで議会中継

天童市議会

で



検索

<https://www.city.tendo.yamagata.jp/congress/>

## 【審査日程】

月日	内容
2/27(金)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
3/3(火) 3/4(水)	本会議 (市政に対する一般質問)
3/5(木)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査)
3/6(金)	環境福祉常任委員会 (付託案件の審査)
3/9(月)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
3/10(火) ~13(金)	予算特別委員会 (付託案件の審査)
3/16(月)	予算特別委員会 (討論、表決)
3/23(月)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)

令和7年度第7回市議会定例会(3月定例会)は、2月27日から3月23日までの25日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の人事案件2件について同意をしました。また、令和7年度各会計補正予算議案8件を原案のとおり可決しました。

令和8年度各会計予算や条例議案計21件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、審査を経て最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議では、予算議案1件が上程され、採決が行われました。(採決結果は12ページに掲載してあります。)

## 市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、3月3日・4日の2日間の日程で、12人の議員が行いました。自治公民館の維持管理と将来の方向性や、AIと学びの在り方などについて、市長や教育長等の見解を求めました。※議員の原稿をそのまま掲載しています。

### 質問者と質問事項

#### てんどう創生の会

#### 【平田 大介 議員】

■中学校部活動地域展開の現状と今後について

#### 【斉藤 美千代 議員】

■市民の健康と命を守るために

#### 【林 正人 議員】

■老朽化が進む自治公民館(分館)の維持管理に対する市の関わりと将来のビジョンについて

#### 【三宅 和広 議員】

■ふるさと納税の充実について

#### 【清風】

■AI時代におけるこれから

#### 【横山 愛 議員】

■子ども教育について

#### 【清新会】

■人口減少社会におけるこれからのまちづくり

#### 【鈴木 照一 議員】

■天童桜まつりと人間将棋

#### 【衆議院議員選挙を振り返って】

■モンテディオ山形新スタジアム建設

#### 【新関 知己 議員】

■救急医療情報共有システムについて

#### 【駒延 法子 議員】

■令和8年度の本市の教育指針について

#### 【瀧口 茂之 議員】

■GIGAスクール構想に関する本市の方針について

#### 【武田 正一 議員】

■市公共施設等の設備更新について

#### 【野口 さつき 議員】

■高齢世帯の増加への対応について

#### 【会派に所属していない議員】

■人口減少に対する移住・定住対策について

#### 【野口 さつき 議員】

■災害から命を守る防災について

#### 【狩野 佳和 議員】

■帯状疱疹ワクチン接種の助成制度の拡充について

#### 【天童オールミュージアムについて】

■選挙の投票率向上について

1 半田 大介 議員

休日部活地域展開に向けわかりやすい周知を



詳しくはコチラ

**Q**令和8年度の中体連後の新チーム以降、休日における学校管轄の部活動がなくなり、既存スポ少や地域クラブでの活動に移行していく。こうした移行期は情報の少なさや部活ごとの対応のバラつきがあると混乱が生じやすい。移行に対する制度設計や生徒・関係者への丁寧な説明が必要だと考えるが、本市としての対応をお聞きしたい。

**A**部活動数の約7割については地域クラブ等で活動を行える環境だが、残りの3割の生徒が活動できる環境については調整中である。移行に関する説明は、これまで各校のPTA総会や市のホームページでも広く周知に努めてきている。

**Q**国のガイドラインでは地域クラブや既存スポ少へ活動費や費用の補助などが明記されているが、本市ではどのような対応を考えているか。

**A**県の新たな指針が示された際には、その内容を踏まえ、本市としての補助のあり方や認定制度について検討していく。



2 斉藤美千代 議員

市民の健康と命を守るために東洋医学の考えを



詳しくはコチラ

**Q**東洋医学は自然治癒力を高め体質改善を目指すものである。乳幼児健診、健康相談、介護予防、認知症予防など市民のための健康増進に取り組んでいるが、人が持つ自然治癒力を最大限に生かすことを念頭に置いて指導をできないか。

**A**健康の維持・向上を図る上で基本となるのは、年齢を問わず、規則正しい生活リズムやバランスの取れた食事であると考えている。こうした基本的な生活習慣の重要性について啓発活動を行っていく。

**Q**天童市民病院の昨年の事業実績は、外来、入院それぞれ前年度より約2000人減少、病床稼働率は83・2割である。持続可能な経営の一つとして、補完代替医療、緩和ケア病棟を導入してはどうか。

**A**西洋医学の科学的根拠に基づき診断・治療と伝統医学の自然治癒力を尊重する医療を総合的に提供し、患者の身体と精神のケアを行っている。地域包括ケア病棟、療養病棟及び在宅医療サービスにおいて緩和ケアを含めた適切な医療、質の高い療養環境を提供していく。



3 林 正人 議員

自治公民館の維持管理に対する市の対応は



詳しくはコチラ

**Q**本市の自治公民館（分館）は長年、地域住民の交流、生涯学習の場として市立公民館同様に重要な役割を果たしている。しかし、設置から築40年から45年を超えて、耐震補強未実施の分館が数多く存在している。少子高齢化が急速に進み生産年齢人口が減少する中で、これら全ての施設を現状のまま維持し、一斉に更新時期を迎えることは、本市の財政状況を鑑みれば極めて困難な状況にあると考える。本館を中心とする利用再編など一体運用を市から積極的に提案すべきではないか。本市の考えを伺う。

**A**自治公民館は、町内会や地縁団体などが整備・保有する施設であり、自治公民館の性格上、あくまでも地域住民の方々に判断してもらおう事項であると考えている。老朽化等により自治公民館の維持が困難な場合には、社会教育活動継続のために市立公民館などの公共施設を有効に活用してほしいと考えている。

4 三宅 和広 議員



詳しくはコチラ

現地決済型  
ふるさと納税の導入を



Q 近年、これまでのような後日返礼品が届く形のふるさと納税とは違った「現地決済型ふるさと納税」を導入する自治体が増えている。旅行者が自治体を訪れた際にスマホなどから寄附し、同時に電子クーポン等を受け取り、その場で利用まで完結するというものである。

A 現地決済型ふるさと納税を導入することにより、例えば天童温泉での宿泊、市内飲食店やお土産物店での利用など、観光客の現地消費を寄附につなげるとともに、市内事業者への直接的な経済効果を高めることが期待できる。また、寄附を通じて天童市への愛着を深めてもらい、交流人口が拡大することも期待できる。本市でも導入してはどうか。

A 現地決済型ふるさと納税は地域密着型のふるさと納税として注目されており、新規返礼品として天童ファン獲得に有効な手段であると認識している。現地を訪れる寄附者の利便性の向上や新たな寄附者の獲得が期待される現地決済型ふるさと納税の導入に向けて検討していく。



5 横山 愛 議員



詳しくはコチラ

子どもの「一生の財産」  
を社会で支えよう



Q 親の経済状況によって学力や体験に格差が生じている現状がある。特に子どもたちにとって一生の財産となる体験（部活動・クラブ活動・文化・芸術・自然体験・習い事など）を家庭事情によって格差を生じさせてはいけない。社会全体で支える仕組みが必要である。本市として体験格差をどのように認識しているのか。また、他自治体で行っている、「スタディクーポン」（直接家庭にお金を配るのではなく、子供の体験に直接働きかけ、子供に選択の自由がある、地域経済も循環できる、塾や習い事、クラブ活動などに使用できるクーポン）制度導入の見解を伺う。

A 子どもの将来が生まれ育った環境により左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したり、また経験が得られず格差が固定したりがないようにすることは、大変重要だと考えている。他市の先進事例を参考にしながら調査研究をしていきたい。



6 鈴木 照一 議員



詳しくはコチラ

桜の維持管理と人間  
将棋の秋開催に向けて



Q 桜花爛漫の下での人間将棋や倉津川のしだれ桜は、天童の春の風物詩となっているが、明らかに樹勢が衰えている桜があり、私たちは先人が残してくれた財産を後世に引き継ぐ責任がある。今後の維持管理について伺う。

A また、天童の人間将棋は、国内外に本市を強くPRする魅力がある。春の桜の人間将棋に加え、秋のみみじの人間将棋を開催し、将棋の聖地を目指しさらなる本市のPRに努めてはどうか。

A 天童公園（舞鶴山）や倉津川沿いの桜は、本市を代表する観光資源であり、施肥・剪定等により維持管理を行っているが、老木化や猛暑の影響から樹勢低下が見られるため、今後は樹木医等の意見を踏まえ、継続的な保全に努めていく。

A 秋の人間将棋は、さらに多くの人々が訪れる機会になると思われるが、関係団体や既存イベントとの調整や運営上の課題もあるため、今後も本市の秋の豊かな観光資源を活用した取組みについて検討し、さらなる魅力の向上を図っていく。

7

新関 知己 議員



詳しくはコチラ

救急医療情報共有システム導入後の成果は



**Q** 本年度予算で導入した救急医療情報共有システムは、救急隊と医療機関にタブレット端末を配備して救急現場で集約した傷病者のデータを医療機関とリアルタイムに共有することで、受入れ準備を迅速化でき、適切な医療機関へのスムーズな搬送ができるため、山形連携中枢都市圏の全7市7町で本格導入となった。そこで、救急医療情報共有システムは、村山圏域全体の病院の登録件数と本市の病院の登録件数、救急医療情報共有システムの効果について伺いたい。

**A** 現在、村山圏域における救急情報共有システム連携医療機関は、県立中央病院のほか16の医療機関となっており、天童市民病院も連携に向け準備中で、効果については、医療機関決定までの時間短縮や依頼回数減少が図られている。

**Q** 天童市民病院以外の6市7町の公立病院で、まだ登録になっていない公立病院は何件か伺いたい。

**A** 天童市民病院以外の公立病院は、全て登録済となっている。



8

駒延 法子 議員



詳しくはコチラ

時代に即した教育のあり方とは



**Q** 第2次天童市教育振興計画の成果に対する所感と、第3次天童市教育振興計画における改善点について伺いたい。

**A** 第2次天童市教育振興計画では、特別支援教育を核とした共に生きる教育の実践や市立公民館の改修等により、学校教育と生涯教育の両面に力を入れてきた。第3次天童市教育振興基本計画では、乳幼児期の健全育成、グローバル社会における人材の育成、教育DXの推進などの時代に即した施策を推進する。複式学級となる学校も出る見込みだが、教育水準の維持を図り、地域コミュニティの核としての学校を存続していく考えである。

**Q** GIGAスクール構想に基づいて児童生徒一人1台の端末は普及したが、運用の段階で、教員のICT活用能力の差が出ている点をどう解決していくか。

**A** ICT支援員を活用し、その専門性の高さや経験を生かした研修などを実施することで、教員が効果的に授業でICTを活用できるよう、能力の向上を図っていく。



9

滝口 茂之 議員



詳しくはコチラ

壊れてからでは遅い 計画的エアコン更新を



**Q** 建設から30年近く経つ市立公民館では、冷蔵庫やヒーター等の家電も当時のままという実態がある。電化製品は突発的な故障のリスクがあり、避難所としての機能維持に不安が残る。メーカーの部品保有期間や省エネ性能を考慮した更新基準の策定をすべきと考えるがどうか。

**A** 適切な清掃・点検で可能な限り長く使用する方針であるが、30年経過は限界が近いと感じる。優先順位をつけて適時更新を図りたい。

**Q** 設置から14年目を迎える二中・三中等のエアコンは、近年の猛暑で負荷が増大していると思われる。故障後に対応する「事後保全」ではなく、学習環境を損なわないよう「予防保全」の観点から計画的に更新すべきではないか。

**A** 計画的な更新が必要と認識している。設置後10年を目安に内部清掃を行っており、その後5、6年での更新を想定している。令和10年頃から更新時期になると計画しており、事業費の平準化を図りながら更新事業を進めていきたい。

10

武田 正二 議員



分筆した他の宅地にも  
公共汚水ますの支援を



詳しくはコチラ

Q 現在、住宅建設を行うために分筆して宅地売買をする場合、下水道の公共汚水ますは、分筆する前の敷地分として一ますは市の負担で設置になるが、受益者負担金を支払っているにもかかわらず、分筆した他の汚水ますは、購入者の負担となっている。その負担額は高額でもあり、建築を断念し、他市に変更する方もいる。それを解消、阻止するために、分筆した他の宅地分の汚水ますも、市の負担で設置すべきである。

A 本市では、住宅等の建設を目的に公共下水道事業計画区域内に宅地を購入する際、公共汚水ますが未設置の場合、土地所有者等が設置することになっている。この要件は、分筆した宅地売買や宅地開発の場合でも、基本的に同様である。人口減少対策と循環型の土地活用の観点から、制度を改善することも必要であると考え、今後検討を進める。

Q 宅地開発にも支援できないか。

A 課題等を整理した上で、調査検討する。



11

野口 さつき 議員



誰一人取り残さない  
防災情報の手段を



詳しくはコチラ

Q 災害は、「いつどこで起きてもおかしくない」状況にあるが、誰もが平時から災害リスクや避難情報を得られる環境整備が重要だ。耳で聴くハザードマップとは、視覚障がい者や高齢者の方がハザードマップにある災害リスク情報を得やすいよう、スマートフォン端末から音声で同マップの記載内容を読み上げてくれる。命を守るために誰一人取り残さない防災情報の手段である。本市でも導入してはどうか。また、住民向け防災放送アプリは、自治体の防災行政無線の放送内容をスマートフォンでリアルタイムに音声と文字で受信できる防災アプリである。本市でもこの防災アプリを導入してはどうか。市の考えを伺う。

A 県は令和8年度の新規事業として、耳で聴くハザードマップを整備する予定である。本市も県の事業に合わせて導入を検討していく。また、防災に関する情報伝達手段として、住民向け防災放送アプリ導入は有効であると考えており、今後、その効果を含めて調査研究していく。



12

狩野 佳和 議員



天童オールミュージアムを造るべきでないか



詳しくはコチラ

Q モンテディオ山形の新スタジアム建設が着工し、観光客が訪れる複合施設を期待している。(仮称)天童南スマートインターチェンジも開通予定で、さらに多くの観光客が本市を訪れる。各地のインターチェンジ付近の道の駅は、どこも賑わっている。本市の全てを網羅した天童オールミュージアムを造るべきと考ええる。

A スマートインターチェンジ周辺の利活用は市内で検討している段階である。

Q (仮称)天童南スマートインターチェンジ付近も良いが、天童インターチェンジ付近で、天童駅西口から約1キロメートルで歩いて行ける市スポーツセンター南側が一番良い。ここでA-10ポットに将棋対戦させ、サクラノボの苗木を育て年中果実を観察できるようにし、将棋駒や地元農産物を販売する観光物産施設を造る。さらに市民が集う公園、日帰り温泉施設、歴史資料館等、天童の全てが分かる施設を造るのはどうか。

A 夢のある提言でありがたく思う。今時点ではまだ白紙の状態である。

# 南部地下道冠水対策工事など 一般会計18億8385万円等を可決（3月補正予算）

3月定例会初日の2月27日、令和7年度補正予算案が提出され、採決の結果、全会一致で可決されました。

可決された予算に関連する主な事業について、次のとおりご紹介いたします。

## 南部地下道の冠水対策のため LED表示板・自動通報システム等を導入

### 1 工事の内容

J R天童南駅付近の南部地下道（アンダーパス）が豪雨などにより冠水した場合、道路利用者への注意喚起を目的として、車両の進入を防ぐLED表示板を東西入口に各1基ずつ設置する。

また、水位を感知すると市役所、消防、警察に自動通報するシステムを整備するとともに、現地の状況をリアルタイムに確認できる監視カメラを設置する。

### 2 場所

南部地下道（J R天童南駅付近）

### 3 工事期間

令和8年7月から令和9年3月まで



▲LED表示板（イメージ図）



▲工事予定の南部地下道

## 教えてケ□っす



### Q アンダーパスが冠水すると、どうなるの？

A アンダーパスは周囲の地形より低いため、大雨時には雨水が集中しやすく、短時間で冠水や水没の危険が高くなります。そのため、豪雨時にはアンダーパスへの進入を避け、迂回することが原則です。一部の場所では、水深が30センチメートル以上になることもあり、この水位になると車両のエンジンが停止したり、重大な事故につながる恐れがあります。このようなリスクを防ぐため、日常的に利用する道路の危険箇所をハザードマップなどで事前に確認しておくことが重要です。

## 荒谷地内の 消防団ポンプ車庫 用地取得費を繰り越し

3月定例会最終日の3月23日、追加の補正予算案が提出され、原案のとおり全会一致で可決されました。

この補正予算では、荒谷地内の消防団ポンプ車庫用地取得に係る手続きに時間を要するため、繰越明許費を補正し令和8年度に繰り越すものです。

# 令和8年度 当初予算

## 市民の笑顔と幸せと 安心を目指す まちづくりに向けて

一般会計 335億4000万円

一般会計・特別会計・企業会計 総額 555億5568万円

3月定例会の予算特別委員会では、令和8年度予算について審査が行われました。

令和8年度の予算は、市の将来像「笑顔あふれ 幸せひろがる 安心都市」を実現するための六つのまちづくりの柱に基づき、クマに係る捕獲報奨金の増額、小学校児童の学習用端末の更新、モンテディオ山形新スタジアム建設の支援などの事業が盛り込まれた内容となっています。委員会では、議員が市民生活の向上や、より良い未来に向けたまちづくりを推進する観点で審査しました。

予算の審査で交わされた質疑の主な内容についてお伝えします。

### ドモス DOMOSUが市内全域で区域乗合型に

**Q** DOMOSUが市内全域で区域乗合型になることで、全ての利用者が自宅前から乗って指定目的地まで向かうことができるようになる。効率的な配車のためにAIを使った配車システムを導入する予定はないのか。

**A** 現在利用している配車システムは令和8年度までの契約となっており、次に導入する新しい配車システムではAIの導入も考えている。



▲市内全域自宅まで送迎

### 洪水の予測地図バージョンアップ

**Q** 洪水ハザードマップ更新事業について、現在は東部と西部の二つに分かれているが、同じ区分になるのか。また、デジタル版のマップを作製する予定はあるのか。

**A** 市民の皆さんが利用しやすいようなものになるのであれば、一つにまとめることも考えていきたい。また、デジタル版についても、紙のものと同じように作成し、両方活用できるようにしたい。

## 将棋の聖地に生まれた子に祝福の駒

**Q** 新生児に誕生のお祝いとして名入りの将棋駒ストラップをプレゼントする取組みを新たに始めるに当たり、新事業なので周知が重要と考えるが、どのように行うか。

**A** 子育てアプリ「コマモル」でのお知らせや、子育てガイドへの掲載、妊婦への健康相談の際に周知を行い、出生届の提出時等に申請をしてもらうほか、電子申請でも受け付ける。



▲将棋の聖地から新生児へ

## 減塩・適塩 元気の源

**Q** 減塩・ベジアップ健康教室とリンクした尿中塩分濃度の検査は料金がかかるのか。また、年4回開催で1回当たり80人の定員としているが、希望者が定員を超えた場合の対応は。

**A** 検査は無料で受けることができる。定員は十分と見ているが、希望者が多い場合は、より多くの方が受けられるように、ぜひ検討をしたい。

## 複式学級に手厚いサポートを

**Q** 令和8年度から荒谷小の2・3年生が複式学級になる予定であるが、1人の教員で2学年の授業を同時に担当することに不都合はないのか。

**A** 1人の担任が2学年を受け持つことになるため、複式学級の経験のある教員の配置を県教育委員会に求めている。また、担任をサポートする学習指導員を募集して、授業での支援をしてもらう予定である。



▲複式学級がスタートする荒谷小

## 子育て世帯移住者 大歓迎

**Q** 住むならてんどう！新築住宅取得応援補助金では、寺津小、津山小、荒谷小の学区に移住・定住する場合に、子どもの数に応じた加算を新たにを行うが、この施策の将来的な展望は。

**A** 同学区は児童数が減少し、小学校の複式学級が予定されている、または可能性が高いことから、地域コミュニティの維持と地域の活性化のためにも子育て世帯の定着を促すことを狙いとしている。

# 常任委員会 議案を審査しました

3月定例会では、議案10件について各常任委員会へ審査を付託しました。  
また、最終日23日の本会議では、各委員長が審査状況について次のとおり報告しました。



## 総務教育

特殊な業務を行う消防職員に  
手当を新設

**消防課長** 消防職員が著しく危険・困難な業務等に従事する際に、新たに特殊勤務手当として、救急救命士手当及び災害応急作業等手当を新設する。救急救命士の資格を持つ消防職員が、医師の指示のもと、心肺停止の処置や点滴、薬剤投与などの高度な救急救命処置を伴う出動1回に対し510円、大規模災害の被災地においては、災害対策基本法に基づき、危険な区域で災害対応に当たった場合に、日額2160円を支給するもの。

**Q** 現在、市消防本部の救急救命士の人数は何人か。また、現在の業務の中で不足していないのか。

**A** 救急救命士の有資格者は27人で、そのうち消防署で現場に出動する要員は21人である。今後、高度な救急救命処置が必要となる状況が増えていくことが考えられる。若い職員を中心に、希望者には国家資格を取得するための研修を受講できるように、体制を整えていく。



## 環境福祉

こども誰でも通園制度の  
本格実施に向け条例を制定

**子育て支援課長** 令和8年4月1日から、子ども・子育て支援法に規定する通称「こども誰でも通園制度」が本格実施される。国の基準に基づき、市が定める条例の基準を満たした場合は、特定乳児等通園支援事業者として乳児等支援給付費が給付される。この給付事業を実施するに当たり、保育施設の設定員や運営の基準等を定めるもの。

**Q** 特定乳児等通園支援事業者は、保護者から利用の申込みを受けた際に、正当な理由がなければ拒んではならないとあるが、正当な理由としてどのようなものを想定しているか。

**A** 例えば、医療的ケアが必要な乳幼児の保護者から申込みがあった場合には、看護師等の医療的ケアを実施できる人員の配置が必要になるため、特定乳児等通園支援事業者によっては、受入れができない場合が想定される。



## 経済建設

市農業者トレーニングセンターの  
使用料がコンビニ納付可能に

**農林課長** これまでは公益財団法人児童市文化・スポーツ振興事業団が指定管理者となり管理を行ってきたが、指定管理期間満了とともに市の直営に戻すもの。また、指定管理者が行っていた管理及び業務のため、施設に必要な職員を配置し、使用料の納付方法について見直しを行うもの。

**Q** 今までの指定管理者制度から、市の直営に変える理由は何か。

**A** 施設の規模がアーリーナー1面のみと小規模であるため、指定管理者制度による民間のノウハウを活用したサービス向上やコスト削減が困難であり、運営経費の確保も難しい。市の直営に切り替えてもコストの差はほぼ生じず、指定管理者制度の継続による効果が得られにくい。

**Q** 使用料の納付方法はどのように見直されるのか。

**A** 現状は金融機関の窓口営業時間内に納付していただいているが、新たにコンビニエンスストアでの納付を導入することで、原則いつでも使用料の支払いが可能になる。



## より深く市政のチェックを

### 福島県伊達市議会を視察（議会運営委員会）

1月26日、福島県伊達市議会に、予算や決算の議案審査に関する視察で訪問しました。

議会は、議決機関として、市の執行機関から提出された議案の審査を行う重要な役割があります。現在、天童市議会では条例などの議案は、所管する常任委員会に付託されて審査を行っています。予算や決算の議案は特別委員会に付託され、審査しています。

本市議会では、予算や決算の議案についても、特別委員会の中に常任委員会のような専門の分野を担当する分科会を設けて、担当分野の予算や決算をより深くチェックできないか検討している中で、分割審査を行っている伊達市議会の状況を学ぶため視察をしたものです。

伊達市議会からは、予算や決算の審査の概要などについての説明や、質疑への丁寧な回答をいただきました。

今回の視察では、分科会方式の予算や決算の審査の進め方や、実務面での検討事項などが明らかになり、実像に迫ることができました。

本市議会は、市民の負託に応えられるよう、より良いまちづくりを目指して励んでまいります。



▲分科会方式の審査の利点や課題を探る



## ハラスメントのない クリアな議会づくり

### 全議員を対象に研修会を開催

2月10日、天童市議会の議員協議会室を会場に、議員研修会を開催しました。

この研修会は、議員の資質向上を図り、市民の皆さまからより信頼される議会を目指して行われたものです。研修会は、全国の議会を対象とした研修で実績のある廣瀬和彦氏を講師に招き、「信頼される議員活動のために」議員活動における基本的な心構えとコンプライアンス」をテーマに講義を受けました。

議員としての心構えでは、市議会議員は特定の地域や団体の代表ではなく、市民全体の代表であることを理解し、自身の言動に慎重深くあるように示されました。

また、近年の問題としてSNSでの炎上や名誉棄損などの侵害行為、ハラスメントとなる事例などについて、実例の紹介も含めて解説が行われました。首長や議員などによるハラスメントの問題は、新聞等で取り上げられていることもあり、当事者のみならず組織の信頼も大きく損ねる重大な事案になることを改めて理解しました。今後もお一層クリアな議会づくりを目指すことを再確認しました。



▲ハラスメントを許さない議会に

## 人権擁護委員の推薦に同意

現人権擁護委員の花輪祐子氏（下荻野戸）が、令和8年6月30日をもって任期満了になることに伴い、再び同氏を推薦することに同意しました。

## 固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意

現固定資産評価審査委員会委員の滝口順一氏（泉町）が、令和8年3月13日をもって任期満了になることに伴い、再び同氏を選任することに同意しました。

# 提出された議案とその結果

令和7年度第6回臨時会、第7回定例会に提出された議案とその結果は、次のとおりです。

## 第6回臨時会(1月30日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第10号	令和7年度天童市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
議第63号	令和7年度天童市一般会計補正予算(第7号)	原案可決 (全会一致)

## 第7回定例会(2月27日～3月23日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
議第64号	令和7年度天童市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 (全会一致)
議第65号	令和7年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第66号	令和7年度天童市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)
議第67号	令和7年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第68号	令和7年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第69号	令和7年度天童市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)
議第70号	令和7年度天童市民病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第71号	令和7年度天童市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第72号	令和8年度天童市一般会計予算	原案可決 (全会一致)
議第73号	令和8年度天童市国民健康保険特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第74号	令和8年度天童市用地買収特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第75号	令和8年度天童市財産区特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第76号	令和8年度天童市介護保険特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第77号	令和8年度天童市市民墓地特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第78号	令和8年度天童市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第79号	令和8年度天童市工業団地整備事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第80号	令和8年度天童市水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議第81号	令和8年度天童市民病院事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議第82号	令和8年度天童市公共下水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議第83号	天童市行政手続条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第84号	天童市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第85号	天童市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第86号	天童市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第87号	天童市手数料条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第88号	天童市債権管理条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第89号	天童市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第90号	天童市立旧東村山郡役所資料館設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第91号	天童市農業者トレーニングセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第92号	天童市道路占用料条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第93号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 (全会一致)
議第94号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意 (全会一致)
議第95号	令和7年度天童市一般会計補正予算(第9号)	原案可決 (全会一致)

## 議会のうごき (2月1日～4月30日)

### ■ 2月

- 6日～8日 あばしりオホーツク流氷まつり(議長／北海道網走市)
- 10日 議員研修会
- 12日 各常任委員会協議会  
市長要請総務教育常任委員会(第八次天童市総合計画基本計画(案)等について)
- 13日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会議会運営委員会
- 16日 市長要請全員協議会  
市長要請各派代表者会  
市長要請環境福祉常任委員会(第三次天童市地域福祉計画の策定について、ファミリー・サポート・センター事業の補助金返還について)
- 18日 関東天童会総会(議長／東京都)
- 19日 議会運営委員会
- 24日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会議員全員協議会・定例会
- 27日～3月23日 第7回市議会定例会
- 27日 広報委員会

### ■ 3月

- 5日 市長要請総務教育常任委員会(天童市における小規模小学校の今後のあり方について)

- 16日 市長要請全員協議会  
議会運営委員会
- 23日 広報委員会  
市長要請経済建設常任委員会(道路陥没を受けた下水道施設(雨水管さよ)の特別重点調査結果(速報)について)  
各派代表者会
- 30日 市長要請全員協議会

### ■ 4月

- 6日 各派代表者会
- 14日 広報委員会  
大阪府門真市議会視察来童
- 15日 山形県市議会議長会監査・定期総会(議長、副議長、事務局長／山形市)
- 16日 市長要請全員協議会  
議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会  
第1回市議会臨時会  
全員協議会  
市長要請各派代表者会  
広報委員会
- 23日～24日 東北市議会議長会理事会・定期総会(議長、副議長、事務局長／青森県八戸市)

## 会派構成の変更

令和8年4月1日から、会派の構成を次のように変更しましたので、お知らせします。

会 派	議員氏名 (○は会派代表)
清 新 会	水戸 保 ○鈴木 照一 水戸 芳美 武田 正二 佐藤 俊弥 古澤 義弘 佐藤 孝一 滝口 茂之 新関 知己
てんどう 創生の会	○遠藤 喜昭 三宅 和広 林 正人 半田 大介 齊藤 美千代
清 風	○村山 俊雄 横山 愛

※会派に属さない議員：遠藤敬知(議長)、伊藤和子、狩野佳和、野口さつき、駒延法子

# 令和7年度 政務活動費の使い道

政務活動費は、地方自治法の規定に基づいて、議員の調査研究その他の活動を行うために必要な経費の一部として、会派や議員に交付されるものです。本市議会では次のように取り扱っています。

- 議員1人につき1カ月当たり1万3000円（年額15万6000円）。
- 会派単位で交付（会派に所属しない議員は個人に交付）。
- 使い道は調査研究費、研修費、資料作成費や資料購入費など。
- 年度終了後、速やかに全支出の領収書を添付した報告書を議長に提出し、不用額は返還する。

※報告書等は市ホームページで公開していますので、どうぞご覧ください。



←ホームページでご確認ください

## ◆令和7年度政務活動費

会派(議員)名	人数(人)	交付額(円)	項目(円)					返還額(円)
			調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	合計	
清 新 会	10	1,560,000	1,459,662	0	2,679	0	1,462,341	97,659
てんどう会 創生の会	5	780,000	667,190	30,000	1,150	79,240	777,580	2,420
清 風	2	312,000	54,042	0	23	0	54,065	257,935
伊 藤 和 子	1	156,000	0	0	0	0	0	156,000
狩 野 佳 和	1	156,000	0	0	0	0	0	156,000
野 口 さつき	1	156,000	79,910	0	0	0	79,910	76,090
遠 藤 敬 知 (議長)	1	156,000	0	0	0	0	0	156,000
合 計	21	3,276,000	2,260,804	30,000	3,852	79,240	2,373,896	902,104

※会派に属しない議員（議長を含む）は、各議員への交付になります。  
 ※会派の人数は、令和8年3月31日現在の人数です。

## ◆調査研究費、研修費の内容（先進地視察、研修会参加など）

政務活動費の使い道として、調査研究費や研修費等が認められています。これは、議員として必要な知見を高め、より良いまちづくりを進めるために、先進的な取り組みを行っている自治体の事例を調査したり、研修機関が実施する議員向けの研修会に参加したりするためのものです。

令和7年度は、各会派などで次のような調査・研修を実施しました。

会派	月日	参加人数	目的地	内容
清新会	7月22日～24日	9	北海道恵庭市 北海道仁木町 北海道千歳市	●半導体工場ラピダスの進出について ●北海道でのさくらんぼの現状について ●千歳市防災学習交流センター「そなえる」について
	1月21日～23日	10	兵庫県伊丹市 愛知県稲沢市 環境省・農林水産省(東京都)	●安全・安心見守りネットワーク事業について ●全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略について ■クマ対策について
てんどう創生の会	10月20日	3	東根市	■議員の資質向上と議会運営の基本について
	10月30日～31日	4	東京都 移住・交流情報ガーデン(同) 日本将棋連盟・将棋会館(同)	■人口減少社会における出産と子育て支援政策の問題点と課題について ●首都圏における移住・定住に関する情報発信の状況について ●将棋会館における施設等の利用状況や運営について
	1月21日～23日	5	NPO法人尾道空き家再生プロジェクト(広島県) 広島県広島市 広島市中央公園エリアマネジメント協議会(広島県)	●尾道空き家再生プロジェクトの取組みについて ●スタジアムを核とした市街地活性化について ●広島市中央公園エリアマネジメント協議会の取組みについて
清風	11月27日～29日	1	ジャパンアップル株式会社(青森県) タムラファーム株式会社(同) 地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所(同) J Aつながる弘前河東地区りんご施設(同) A-FACTORY(エーファクトリー)(同)	●日本最大級のりんご園地の運営について ●果樹の大規模化や6次産業化など先駆的な農業経営の状況について ●青森りんご栽培の課題と研究について ●最先端の選果・出荷体制について ●6次産業化による地産地消と高付加価値化について
さ野つき口	1月21日～23日	1	兵庫県伊丹市 愛知県稲沢市 環境省・農林水産省(東京都)	●安全・安心見守りネットワーク事業について ●全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略について ■クマ対策について

(●：調査研究費、■：研修費)

### 教えてケ□っす



#### Q 天童市議会でも先進地視察を受け入れてるの？

A 本市議会は全国各地から、議会の委員会やさまざまな議員の会派による視察を積極的に受け入れています。令和7年度には18の議会から合計115人が視察に訪れました。視察内容は各議会が選択する形となっていますが、昨年度で最も多かったのは「天童市子育て未来館 げんキッズ」に関する視察で、7つの議会から41人が参加し、先進事例の説明と現地視察を行いました。天童市子育て未来館 げんキッズは、入場無料で利用できることから全国的にも注目されている施設です。

# 今回の表紙(題字・イラスト)

# 作者紹介



▲秋山さん(写真左)からは優しく心のかもった丁寧な題字を、伊藤さん(写真右)からは和やかで楽しそうな子どもたちの作品を提供いただきました。ありがとうございました。

## 【題字】<sup>あきやま</sup>秋山 <sup>ゆん</sup>優天さん(三中3年)

- ◎ 作品の説明をお願いします。
- Ⓐ 字と字の間隔に注意して、バランスが良くなるように書きました。字の太さを同じにできるように注意しました。
- ◎ より良いまちづくりのために一言。
- Ⓐ 観光客を巻き込むイベントなどをたくさん行い、今よりもっと多くの人が集まるようなまちになってほしいです。

## 【イラスト】<sup>いとう</sup>伊藤 <sup>れな</sup>玲奈さん(三中3年)

- ◎ 作品の説明をお願いします。
- Ⓐ 5月はこどもの日なので1人で何かをしているより、複数の方が良いと思ったので、大きさなどを工夫しながら描きました。
- ◎ より良いまちづくりのために一言。
- Ⓐ 色んな世代との交流を深められるようにイベントなどの活動を活性化し、天童のより良いまちづくりを進めていってほしいです。

### 6月定例会の日程

中継あり

5/29	金	本会議(初日)	
30	土		
31	日		
6/1	月		
2	火	本会議(一般質問)	
3	水	本会議(一般質問)	
4	木	常任委員会	
5	金	常任委員会	
6	土		
7	日		
8	月	常任委員会	
9	火		
10	水	予算特別委員会	
11	木		
12	金	本会議(最終日)	

※ 請願の締め切りは5月21日(木)正午の予定です。  
 ※ 日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

## 議会報告・意見交換会を開催します

日時 5月24日(日) 午前10時から  
 場所 市総合福祉センター

テーマは設けていませんので、  
 ご自身の思いを市議会にお聞かせください。  
 (地域の課題、防災、部活動についてなど)

より開かれた議会となるよう、市民の皆さまに議会活動を報告するとともに、小グループで話し合いの場を設けます。本市のまちづくりのために市民の皆さまと一緒に考えて話し合えればと考えています。ぜひご参加ください。

皆さまのご意見をお聞かせください。



【広報委員会】委員長 横山 愛 副委員長 新関 知己 委員 狩野 佳和・佐藤 俊弥・古澤 義弘・林 正人・斉藤美千代